

きせき

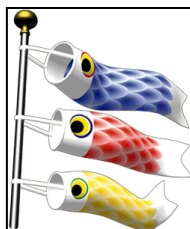
～僕らが出会えた奇跡と、僕らが歩む軌跡と～

4月30日

5月1日

コロナに負けるな！！

みあげれば がれきの上に こいのぼり



子ども達の成長を願って大空に舞うこいのぼりも、今年の春は少し違った様子に見えますね。

連日、新型コロナウイルス感染症の話題がテレビや新聞をにぎわしています。3月の休校に引き続き、先日からまた休校になりました。ようやく中学校生活が始まったのに・・・という思いの人が多くはと思いますが、今だからできることに着実に取り組みましょう。

さて、上の「みあげれば がれきの上に こいのぼり」は国語の教科書に載っている「空を見上げて」という教材の一部です。宮城県の女川町の中学生が、東日本大震災の時、胸の内を言葉にしたものです。この句がNHK ラジオ国際放送でも取り上げられ、世界中の人々からメッセージが寄せられたそうです。そのメッセージを女川の中学生が訳し、下の句として紡がれたものが、教科書にも3首紹介されています。

おうちの方と下の句づくり取り組んでみてはどうでしょうか。きっと、勇気が、希望が湧いてくると思います。

最初の一か月が終わりました。

入学式も無事終わり、中学校生活が始まりましたね。初日の緊張した表情も徐々に緩み始め、落ち着いて中学校生活が始まったように思います。

先日の身体測定の結果はどうだったでしょうか。背が伸びたり、体重が増えたりして成長を感じられた人もいでしょうし、視力が落ちるなど、気をつける場所が見つかった人もいます。待ち時間中の様子を先生たちも観察していました。注意を受ける場面もあったようですが、おおむね、いい態度で過ごせたと思います。養護の藤丘先生から「今年の1年生は指示が1回で通る。お話をきちんと聞ける人が多いですね。」とお褒めの言葉をいただきました。

また、各教科の授業も始まりました。中学校では、教科ごとに先生が変わります。先生が変わるということは、学習の進め方が違うということです。戸惑うことも多いと思います。わからないことは、早めに先生に確認する。その癖をつけておくことが、これから先、社会に出たときにも役に立つはずです。



部活動について

4月10日の学活の時間に「中学生になって」というテーマで、作文を書いてもらいました。中学生になってがんばりたいことを一生懸命書いてくれました。中学生になったのだから、勉強をがんばりたいという意見も多かったのですが、それと同じくらいに、部活動を楽しみにしている様子も伝わってきました。

さて、その気になる部活動ですが、現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、部活動が行われていません。再開のめども立っていません。すべては、新型コロナウイルス感染症次第です。部活動が再開できるようにになれば、部活動見学、仮入部、正式入部と、いつもの年と同じように手続きをしようと考えています。もうしばらく待っていてください。

5月の予定

月	火	水	木	金	土	日
			4月30日 登校日	1 登校日	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 登校日	8 登校日	9	10
11 登校日	12 登校日	13	14 登校日	15 登校日	16	17
18 登校日	19 登校日	20 テスト週間	21 職員会議	22	23	24
25	26	27 中間考査	28 中間考査 避難訓練 専門委員会	29	30	31

※ 例年だと、5月の中旬に、宿泊研修が予定されています。今年は17・18日の1泊2日の予定で、国立吉備青少年自然の家で野外学習をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でできません。代替の行事を、2学期のどこかでできたらと思っています。詳しいことが決まりましたら、また、お知らせします。

☆6月の予定

1日～8日 教育相談 4日 歯科検診 11日 耳鼻科検診 23日 専門委員会
29・30日 期末考査

《保護者の皆様》へ

4月20日から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休校になりました。各ご家庭での過ごし方に、苦慮されているのではないのでしょうか。学習面、健康面等、気になることがございましたら、学校までご連絡いただければと思います。

また、23日・24日に予定された希望懇談が延期になりました。近日中に各担任より連絡を取らせていただく予定ですが、取り急ぎ気になるようなことがございましたら、お気軽にご連絡ください。

「中学生になって」(抜粋)



私は、中学生になって、人の役に立てることをしたいと思い、目標としています。そのために、積極的に行動したり、まわりに、目を配らせたりすることが大事だと思いました。たとえば、こまっているひとがいたら、声をかけたり、落ちているものを拾ったり、ということがすぐにできるようになりたいです。他にも、大切にしていることは、優しさです。優しさがなければ、人の役に立つことはできないので、どんな人にも、優しさをもって、行動したいと思っています。

(1組 花田 実咲)

ぼくがはじめて中学校にきた入学式。ぼくは不安な気持ちでいっぱいだった。「友達できるかな。」「いやなこと言われなかな。」と。しかし入学式が終わってから勇気を出してしゃべった。「君、名前なんていうの。」そういうと「～です。よろしく」と言ってくれた。その時はほっとして嬉しい気持ちになった。それからどんどん友達ができていった。今はとても楽しい日々を送っている。

ぼくには中学生になってからの目標が二つある。一つは文武両道をする事だ。中学生になると勉強もむずかしくなり、また部活も始まる。文武両道はとてもむずかしいと思う。しかし部活も勉強も真剣に取り組み充実した中学生生活にしたいと思っている。(2組 門田 和樹)

私は、中学生になるのが不安だった。勉強が難しくなること、他校の人達と仲良くするということが不安だった。でも、それとはちがいが期待があった。家で、兄や姉が中学のことを楽しそうに話していたからだ。私は、大人へ近づくと一歩をふみだした。

友達と入学式の日、自転車で中学校に行った。そこには、知らない人がたくさんいて、正直こわかった。クラスを見るのもこわかった。友達とはなれて残念だったけど、他の友達がいた。入学式も卒業式と同じで練習が少なかったけど、ちゃんとできたので良かった。中学校は小学校と違って、「自分で考えて行動」が多かった。でも、それも大人への一歩だと思ってがんばっている。

私には夢がある。それは、子どもに関わる仕事をする事。特に、「いじめやぎゃく待」に関わる仕事。だから、友達を大切にしたい。絶対に友達を見捨てたりしないと決めている。まだ小さいけど、誰かに頼ってもらえるような中学生になりたい。

(2組 黒川 彩英)



私が、中学生になって思ったことは二つあります。

一つ目は、自分で考えて行動することです。小学校でも自分のこと、自分の役割などは、自分でしていました。しかし、忘れていたりすると先生などが注意してくれていました。ですが、中学校では自分のことや、自分の役割をきちんとしないとクラスに大きなめいわくがかかってしまいます。小学校とくらべて中学校はひかくの人数が多いので目が行き届かない場合があります。なので、自分でしないといけないことはきちんと最後まで役割を果たしたいです。(後略)

(3組 田淵 楓奈)

私はマナーの守れる中学生になりたいです。例えば登下校の時にはたくさんの人とすれ違うので、



感じよく、あいさつをしようと思っています。校内でも、先生方や、先輩にはいろいろなことを教えていただくので、きちんと敬語を使って話したり、えしゃくをしたりしていきたいです。これから、つらいことや苦しいこともあるかもしれないけれど、そんなときは友達と支え合って、乗り越えていきたいです。友だちが困っているところを見かけたら声をかけて、明るい気持ちになってもらえるような人になりたいです。

(3組 横山 小春)

この中学校生活 3 年間で身につけておきたいことは、ちゃんと考えて友達と話したり物を言ったりすることです。小学校の時には、何も考えずに、余計なことを言って先生に怒られたり、友達を傷つけてしまいました。なので、ちゃんと何かを言うときには、「これを言って友達を傷つけたりしないかな」などを考えてこれからの中学校生活で意識していきます。中学校生活は始まったばかりだけど、3年間がんばっていきます。

(4組 三宅 諒和)

中学校生活で身につけたいことは、友達とのしんらい関係です。これから、つらいことは、たくさんあると思うから、それを仲間と一緒に乗り越えて、最高の中学校生活にして行きたいです。まだまだ分からないところや不安などは、たくさんあるけどがんばって行きたいです。

中学校は小学校よりもレベルアップします。だから、大変なこと多いと思うけど、それをたくさんの友達とのりこえて、充実した生活、楽しい生活をおくれるようにしていきたいです。

(4組 明石 梨里)

